

발산마을 Balsan Villedge / 03.10

光州で初めてのデートに行きました。私の滞在している宿を経営しているナさんです。場所は宿周辺パルサンマウルです。ナさんはこのパルサンマウル出身です。

パルサンマウルは、60年代（資料では70年代？）に川を挟んだ向こう側にできた紡績工場に勤める女性たちが住んだことから始まっています。現在、紡績工場は解体され、その跡地に新たなモールや高層マンションが建てるための工事が進んでいます。丘の上から工事がすすんでいるのがみえました。

紡績工場がなくなり、人々が高齢化した街では空き家が増えました。その建物を光州市が買取り、リノベーションしてアート施設やスタジオにして地域を活性化する試みをしています。街中の壁画が多く、カラフルな家や面白い装飾のある家が見られました。でも、空き家はどんどん増えており、なかなか若い人が引っ越してこないそうです。この場所は繁華街から少し遠く、交通がちょっと不便。私は、坂道を歩くと、次々といろんな建物が現れて、畑や細い路地がある街並みは変化富み、歩くだけでも楽しい場所だと思いました。

このエリアは急な坂が多くて、車が通れないような路地もたくさんあり、迷路のような場所です。住宅は、住宅メーカーが作るような規格があるわけではなくて、この急な坂道の地形に合わせて色々な形になっています。あとから改修して継ぎ足したように見える建物もあります。そうした風景は、周りに見えるタワーマンションとは対照的な街並みです。

現在のパルサンマウルは車が通れるように車道も改修されて、ナさんの子供の頃から考える街の様子もだいぶ変わったそう。街を歩いているなかで、ナさんが以前住んでいた家や家族が住んでいた家を教えてくれました。お祖父さんの時代にこちらに引っ越してきて、お店をやっていたそうです。

こうした古い街並みの間に彫刻や公園が新設されており、アートやコミュニティの活性化を試みていることが伺えます、そしてその合間に、昔ながらの家庭菜園でさつまいもや白菜、唐辛子を育てていました。こうした家庭では現在でも自家製キムチを作っているそうです。ナさんのパートナー、イさんもキムチを作ると言っていました。

途中立ち寄ったのは、ナさんの友達のお餅屋さんです。お餅を作る色々な機械があり、人々が集っています。ナさんはここでお酒を飲んだり、みんなで食べたりすることがあると教えてくれました。とてもアットホームで居心地が良い場場所です。お餅屋さんと聞いていたけ

ど、ゴマ油を作る圧搾器やキムチペーストを作る機械、お米やゴマ油も販売していました。
わたしも、ここでゴマ油を買いました。

